

令和4年度 学校における食育研修 実施要項

- 1 目的 児童生徒の「食生活」をめぐる課題や問題点を踏まえるとともに、家庭や地域社会と連携して学校教育全体で取り組む「食育」の在り方について考え、児童生徒主体の食育の授業を実践することができる指導力の向上を図る。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校、高等学校（府立、岸和田市立、東大阪市立）及び府立支援学校の教職員

募集人数 30名

3 内容等

| 回 | 日時 | 内容 | 講師等 |
|---|--------------------------|---|--------------------|
| 1 | 11月24日(木) 14:00~17:00 | 食に関する効果的な指導の在り方 ー子どもの経験や興味を引き出す工夫・手立てー 食育の効果的な進め方 ー子ども主体の食育の授業づくりー 〔講義・演習・研究協議〕 | 大阪府教育センター 指導主事等 |

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 高等学校教育推進室
- 6 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。

令和4年度 学校における食育研修 シラバス

2484

1 目的

児童生徒の「食生活」をめぐる課題や問題点を踏まえるとともに、家庭や地域社会と連携して学校教育全体で取り組む「食育」の在り方について考え、児童生徒主体の食育の授業を実践することができる指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| 第1期 | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修課題とねらい等

| 回 | 研修課題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|---|---|--|---|
| 1 | 食に関する効果的な指導の在り方 ー子どもの経験や興味を引き出す工夫・手立てー | 今、求められる食育の授業づくりの在り方を学ぶ。 | 問題解決的な学習、参加型ワークショップの手法を取り入れた食育の授業の良さを紹介し、食育をどのように教えたらいのか提案する。 | 事前課題 各自、自身が行った食育の授業実践事例（学習指導案、教材等）を11月10日（木）までにEメールで提出するとともに、研修当日に持参する。 提出先、持参する部数は別途通知する。 |
| | 食育の効果的な進め方 ー子ども主体の食育の授業づくりー | 様々な教科・領域や学年で、食を教材とした「食育」の授業をどのように実践していけばよいのかについて学ぶ。 | ・グループワークを通して、持ち寄った指導案について協議し、新たな指導案作成に取り組み、作成した指導案の発表を行う。 ・子ども主体の授業が成立するためのポイントを整理し、各校における日々の教育実践への活かし方について考える。 | |